

御挨拶

岩手県技能士会会長
水口勝士



岩手県技能士会会員の皆様には、平素より当技能士会の事業運営に御参画・御協力をお願いいただき、誠にありがとうございます。

現在、新型コロナウイルス感染症が発生し、会員各位を含め多くの皆様の生活や経済活動に影響が及んでいます。一刻も早く平穏な日々を迎えられることを念じてやみません。

さて、当技能士会は、技能士の資質の向上と地位向上を図ることを通じて社会に貢献することを目的としています。そのためにも、技能関係団体の連携や技能士の結集が重要ですが、当技能士会は、少子化の進行・若者のものづくり離れを背景として会員数の減少が課題となっています。

ここに改めて、当技能士会と会員、会員相互、そして会員以外の技能者方々を含め互いに連携し協力していくことの重要性を強く訴える必要があると思います。

今般、こうした想いを込めて会報を再発行します。どうぞよろしくお願ひします。

会報再発行のお知らせ

このたびは岩手県技能士会会報を再発行することといたしました。当技能士会が社団法人として解散し、任意団体となつて以来、会報の発行が途切れていました。

去る六月一六日（火）に開催した令和2年度第一回理事会・通常総会の際、出席者から再発行に御意見がありました。

具体的には「会員が当技能士会の活動状況を理解するために会報は必要と考える」「会報を会員に配布することは地区技能士会と会員の接点の一つとなる」「新規の会員の勧誘に会報が活用できる可能性がある」「会報は経費がかかることも考えなければならぬ」などです。

こうした御意見を踏まえ、以前と模様を変えて会報を発行します。これまでは当技能士会の事業実績をまとめ、年一回印刷発注により発行してまいりました。今後は、掲載内容をコンパクトにまとめ年複数回発行します。また、経費節減のため当技能士会事務局の手づくりとします。

会員の皆様にはご愛読いただきたくよろしくお願ひします。また、当技能士会の理解を広げるため会員以外の技能士の皆様への回覧についても御協力をお願いいたします。

当技能士会としては会報の充実を努めて参りますので、よろしくお願ひします。

岩手県技能士会会報の目的と令和2年度編集方針

【発行目的】 岩手県技能士会が年複数回岩手県技能士会会報を発行することにより、当技能士会と会員及び会員相互のコミュニケーションの推進を図るとともに、会員以外の技能士の当技能士会に係る理解が促進されることを目的とする。

【令和2年度編集方針】

- 1 発行回数・規格 4回 A4版 2ページ～4ページ
- 2 読者 会員。加えて会員以外の技能士
- 3 コンセプト
当技能士会の事業実績のみならず、技能士にとって参考となるような内容とする。
技能士の地位向上等に関わる記述を除き、政治に関わる事項は掲載しない。
- 4 掲載事項
 - (1) 岩手県技能士会の運営状況
例 岩手県技能士会の収支状況、事業内容など
 - (2) 地区技能士会の事業活動
例 各地ものづくり教室の実施状況など
 - (3) 会員個人の活動、動静及び意見・感想
例 ものづくりマイスターとしての活動、会員の表彰の受賞、会員の投稿など
 - (4) 技能士にとって参考となる情報
例 技能検定に係る情報、関係機関が開催するイベント・事業の情報、技能士に関係する国・岩手県の制度の動向に関する情報など

岩手県技能士会会報 第1号

役員の改選

会長1名、副会長3名、理事8名(専務理事1名含む)、監事2名が次のとおり選任されました。(任期 令和2年6月から令和4年5月)

役職	氏名	会員名	区分
会長	水口 勝 士	盛岡地区技能士会	再任
副会長	浪岡 清 高	二戸地区技能士会	再任
	菊池 岩 男	遠野地区技能士会	再任
	尾形 香	東磐地区技能士会	新任
専務理事	寺本 樹 生	岩手県技能士会	再任
理 事	菅原文 男	奥州金ヶ崎地区技能士会	再任
	小野寺 利美	一関地区技能士会	再任
	菊地 弘 郎	大船渡地区技能士会	新任
	佐々木 忠一	釜石地区技能士会	再任
	中小路 啓二	久慈地区技能士会	再任
	佐藤 治	岩手県表具内装技能士会	再任
	富樫 清 人	岩手県内装仕上技能士会	再任
監 事	高橋 勇 喜	北上地区技能士会	再任
	高橋 満	岩手県造園技能士会	新任

祝 令和元年度表彰等

全国技能士会長表彰
 西舘達雄氏(二戸)
 高橋啓悦氏(北上)
 外舘義美氏(久慈)
 岩手県技能士会長表彰
 菅野正幸氏(北上)
 志和京多氏(奥州金ヶ崎)
 尾形香氏(東磐)
 菊池榮喜氏(遠野)
 菊地昭一氏(宮古)
 中小路啓二氏(久慈)
 久保亨氏(二戸)
 佐藤進一氏(表具内装)
 全技連マイスター認定者
 佐藤治氏(表具内装)

令和2年度事業計画

- 1 技能士活用促進事業
 - ・岩手県技能士大会の開催など
- 2 技能尊重事業
 - ・功労者の表彰など
- 3 調査広報活動
- 4 諸会議の開催等
 - ・総会、理事会、監事会など
- 5 会員拡大の推進

令和2年度収支予算 単年度収支は約30万円赤字(397,389円-685,389円=△288,000円)

収入の部	予算額	前年予算	増減	支出の部	予算額	前年予算	増減
1 会費収入	690,000	816,000	△126,000	1 管理費	440,000	560,000	△120,000
正会員会費	675,000	801,000	△126,000	(1) 事務局	320,000	440,000	△120,000
賛助会員会費	15,000	15,000	0	事務費	200,000	200,000	0
2 事業収入	270,000	1,300,000	△1,030,000	事務委託費	120,000	240,000	△120,000
証明書等申請手数料	90,000	90,000	0	(2) 会議費	120,000	120,000	0
県技能士大会参加料	180,000	210,000	△30,000	総会費・理事会費	90,000	90,000	0
技能向上対策受託料	0	1,000,000	△1,000,000	各種会議費	30,000	30,000	0
3 寄付金収入	1,000	1,000	0	2 事業費	839,000	1,694,000	△855,000
4 雑収入	30,000	30,000	0	(1) 技能士活用促進費	500,000	500,000	0
5 前年度繰越金	685,389	539,842	145,547	県技能士大会実施費	450,000	450,000	0
				青年部結成促進費	50,000	50,000	0
				(2) 技能尊重推進費	339,000	1,194,000	△855,000
				全国技能士大会参加等	80,000	80,000	0
				技能グランプリ参加等	100,000	0	100,000
				ものづくり体験教室	100,000	150,000	△50,000
				全技連交通共済費	9,000	9,000	0
				全技連商品購入費	50,000	55,000	△5,000
				技能向上対策受託	0	900,000	△900,000
				3 予備費	397,389	432,842	△35,453
合計	1,676,389	2,686,842	△1,010,453	合計	1,676,389	2,686,842	△1,010,453

令和2年度会員状況

		会員名
正会員	1	盛岡地区技能士会
	2	北上地区技能士会
	3	奥州金ヶ崎地区技能士会
	4	一関地区技能士会
	5	東磐地区技能士会
	6	大船渡地区技能士会
	7	遠野地区技能士会
	8	釜石地区技能士会
	9	久慈地区技能士会
	10	二戸地区技能士会
	11	岩手県造園技能士会
	12	岩手県表具内装技能士会
	13	岩手県内装仕上技能士会
	14	岩手県写真技能士会
	15	岩手県日本調理技能士会
賛助会員	①	(有)岩手架設工業
	②	岩手県タイル煉瓦工業会
	③	全標協岩手県協会
	④	(株)白ゆり
	⑤	岩手県農業機械商業協同組合
	⑥	岩手県鳶工業連合会

コロナウイルス感染症の影響等(発行日現在)

コロナウイルス感染症の影響で、技能士に関係する事業が中止となっています。

【中止の事業】

◆前期技能検定(中止)

- ・外国人技能実習生に係る随時の技能検定は通常どおり実施中
- ・後期技能検定は実施される予定

◆東北職業能力開発促進大会(中止)

令和3年度は秋田県で開催予定

◆若年者ものづくり競技大会(中止)

なお、岩手県技能士大会は例年どおり開催する予定です(11月26日(木)大船渡地区)。

また、現在、岩手県若年者技能競技大会、岩手県職業能力開発促進大会、全国技能士大会、技能五輪全国大会も開催されるとのことです。

【参考・留意事項】

- 国土交通省土地・建設産業局から「建設業における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」が通知されていますので、参考にしてください。
⇒国土交通省ホーム)政策・仕事)土地・建設産業)建設産業・不動産業)新型コロナウイルス感染症
- 民法改正に伴い、建設工事標準請負契約約款が改正され令和2年4月1日から施行されています。コロナウイルス感染症の影響で当初国土交通省が開催を考えていた説明会が開催されていません。同約款を活用している会員の方は御留意ください。
⇒国土交通省ホーム)政策・仕事)土地・建設産業)建設産業・不動産業)建設業)建設工事標準請負契約約款について

編集後記

若手技能士会会報を久々に発行した。総会開催時、会報の再発行の意見があり、総会終了後、善は急げであわただしく編集した。総会開催時の写真を用意しておらず、また、会員各位からの投稿を掲載できなかつたことを申し訳なく思っています。

さて、若手県技能士会の最大の課題は、若手会員が少ないことである。若手といっても50歳代までは当技能士会では若手という。それほどまでに若手会員が少ない。

この会報が若い技能士の方の目に留まり、当技能士会に関心をもち、いただくことを心から願っている。

投稿等のお願い

会員の皆様に投稿をお願いします。内容は、情報提供・御意見・写真など、また会員個人の趣味に関することでも構いません。投稿先は当会報の発行元となりますのでよろしくお願い致します。

入会のお勧め

未入会の技能士の皆様、ぜひ地区技能士会や職種別技能士会へご入会をお願いします。心から歓迎いたします。

発行日 令和2年7月1日

発行元 岩手県技能士会 020-3615紫波郡矢巾町大字南矢幅10-3-1 岩手県立産業技術短期大学校内

TEL 019-613-4620 FAX 019-613-4623 E-メール iwate@noukai.com

発行責任者 岩手県技能士会専務理事 寺本樹生